



さとやま

10月に見られるいきもの



今年の9月は、残暑もありましたが、長雨や台風接近のため気温の低い日も多く、思ったほど暑くなかったような気がします。緊急事態宣言で休園中の里にも、秋の気配が深まってきました。10月には写真のように、藤棚奥の柿畑にあるサワフジバカマなどで、旅をする蝶、アサギマダラの吸蜜する姿も見られるようになります。この蝶は、ヒヨドリバナやスズカアザミにも好んで訪れます。

豆の花は、前回ご紹介したのものから日陰の好きなヤブマメに代わりました。せき・たんに効くと言われるタンキリマメの真っ赤に色付いたさやも見つかります。いかにも効きそうですが薬効は不明です。水路や、トンボの里の池の付近では、湿地が好きなタデ科の花たちが花盛りです。

万灯山山頂では、例年見られる、黄色いアキノキリンソウとかわいい釣り鐘型のツリガネニンジンの花に加え、「かぎ万燈」中止のため、今年もオケラの花が見られます。

山道や長円寺では、ホトトギスの花が見られます。前回ご紹介したヤマジノホトトギスと違い、長い期間咲き続けます。

非常事態宣言も明け、すっかり秋の色合いになった里を、こんな生き物を探して歩いてみましょう。



ヒヨドリバナ



スズカアザミ



ヤブマメ



タンキリマメ



アキノキリンソウ



ツリガネニンジン



オケラ



ホトトギス

里の生き物紹介

タデ科の花たち

秋は、里のあちこちで様々なタデ科の花がみられます、そんなタデたちをご紹介します

センター前や里の田んぼエリアで、白い小さな花が群生して咲いているのが見られます。これは**シャクチリソバ**というソバの仲間の花です。



シャクチリソバ



ヒマラヤ原産で、明治時代解毒剤として用いられていたものが野生化しました。ソバと同じような実がなります。えぐ味が強く、食べられないそうですが、ルチンを多く含み、血圧降下作用があるので、最近注目されているようです。

田んぼエリアや、トンボの里など少し湿った場所にはピンク色の花がたくさんみつかります、ほとんどは**アキノウナギツカミ**と**ミソソバ**です



左 アキノウナギツカミ 右 ミソソバ



アキノウナギツカミの葉



ミソソバの葉

同じ場所に咲いていることもあります。どちらも、茎についている下向きの棘で、他のものに引っかかりながら体を支えます。アキノウナギツカミの名の由来は、その茎でウナギが掴めそうということのようです。

この2種類は、葉の形で見分けられます。アキノウナギツカミは茎を抱くように葉がつきます。ミソソバは鉾型で牛の頭のように見えます。

2種に交じって咲く**ボントクタデ**は、花穂が長く垂れ下がります。香辛料に使われるヤナギタデに似ているのに辛味がないことから、間の抜けたという意味で「ボントク」と名が付けました。



ボントクタデ

あまり湿っていないところにも、タデ科の仲間の花が見られます

道端や、畑などに普通に見られる**イヌタデ**は、春から秋にかけて長い期間花をつけます。ポントクタデと同じように辛味がないため、「犬」という名が付けました。

この花を、赤飯に見立ててままごとに使っていたことから、「アカマンマ」の別名があります。時々白い花のものも見つかります。



最近、小草池の耐震工事が行われていますが、そののり面にイヌタデによく似た草丈の高い植物がみられることがあります。

これは、荒地や河原を好む**オオイヌタデ**です。イヌタデの草丈は 20~50 cmですが、こちらは 80~120 cmになります。花色は赤~白まで様々です。



林や藪のふちには、**ミズヒキ**がたくさん見られます。名は、細長い花穂の様子を紅白の水引にたとえたものです。花は午前中だけ開きますが、よく見ると上半分と下半分が紅白に分かれています

白花のものは、ギンミズヒキと呼ばれます。

万灯山へ向かう道に、右の写真のような白いタデの果実を見つかることがあります。これはイタドリの実です。雌雄異株で、雌株の花は、真ん中に雌しべと赤い子房が見えます。

日本では、山地の日当たりのよい、やや荒れた土地に普通にみられる植物です。観賞用にヨーロッパに持ち込まれ大繁殖して、特にイギリスで、コンクリートやアスファルトを突き破る被害を出し、「世界の侵略外来植物ワースト100」に数えられているようです。



10月の行事予定

3日(日)	万灯山へ秋のお花畑を見に行こう	20名	AM9:30~15:00	高須 桂子
10日(日)	棚田で稲作しようⅡ(稲刈・はぎ掛け)	30名	AM9:30~11:30	当園職員
24日(日)	棚田で稲作しようⅢ(脱穀)	30名	AM9:30~11:30	当園職員

※「棚田で稲作しよう」を受講された方には、お米をプレゼントします！ また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。 [予備日：10日⇒17日・24日⇒31日]

11月の行事予定

14日(日)	里山の落とし物でケーキを作ろう	20名	AM9:30~11:30	河江喜久代
21日(日)	竹を切ってみよう！	20名	AM9:30~11:30	にしお環境市民塾

- ◆参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話にて受付します。また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。
- ◆参加申込者は傷害保険に加入のため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◆天候や少数(6名以下/1講座)、コロナ禍などにより「講座の中止・延期」、または「受講内容の変更」する場合があります。
- ◆原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆詳細な講座の内容などは、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

編集後記



残暑も日ごとに和らぎ、秋の訪れが感じられます。長かった「緊急事態宣言」も解除されました。臨時休園中は、各施設の延命を目的に観察舎や四阿のペンキ塗りをはじめ、「トンボの里」の池が土砂の流入で浅くなり、生き物が棲みにくくなったため、重機を使って洲出しを行いました。写真は、長圓寺隣にある公衆トイレの看板が壊れていたため、台風の接近前に修理を行ったものです。

西尾いきものふれあいの里

- ◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266
- ◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課